

## 2014年12月政情（内政・外交）

### 1. 内政

#### （1）次期検事総長の任命

2日、バレーラ大統領は、次期検事総長として、検察庁副書記を務めたほか大統領府法律顧問や最高裁判所等における勤務経験を持つ弁護士のカニア・イソルダ・ポルセル・ディアス氏を任命した旨発表した。同氏は2015年1月2日に検事総長として就任し、2025年まで同ポストを務める予定。

#### （2）外務次官ポスト増設の決定

10日に行われた閣議において、外務省における外務次官ポストを2つに増やす事が決定した。現在、外務次官ポストは1つであるが、これに並び、パナマの国際協力の管轄及び促進を行い、国際関係や対外政策に関する調整を担当する多国間関係及び協力担当次官が誕生する。本法案は2015年1月に国会に提出され、審議が開始する予定。

#### （3）国会議員再選挙の終了

14日及び21日、国会議員再選挙が行われ、パナメニスタ党候補4名、CD党候補2名、PRD党候補1名、モリレナ党候補1名が当選した。これにより全71議席が確定するものと見られていたが、25日、同再選挙において敗退したCD党候補らが選挙区4-5、4-6、9-1における選挙結果への異議申立てを行い、選挙裁判所による対応が待たれることから、2015年1月2日に開会される新国会は全71議席中、同異議申立て対象となっている3名を除いた68議席をもってスタートする事となった。

### 2. 外交

#### （1）バレーラ大統領の第24回イペロアメリカ・サミット出席

8～9日、バレーラ大統領はメキシコ・ベラクルスにて開催された第24回イペロアメリカ・サミットに出席し、各国首脳との間で教育、文化、技術革新等のテーマにつき話し合いを行った。また「バ」大統領は、この機会にサントス・コロンビア大統領との二国会談を行ったほか、サイン・マロ副大統領兼外務大臣と共にスペイン・フェリペ国王及びラホイ首相、中米各国大統領による会合に出席した。

#### （2）サイン・マロ副大統領兼外務大臣のマイアミ訪問

10～12日、サイン・マロ副大統領兼外務大臣は第7回米州首脳会議のプロモーションを目的にマイアミを訪問した。本訪問の中で「サ」大臣は、米州首脳会議に合わせてパナマで開催が予定されている企業フォーラムに先立つ企業会合に出席したほか、教育、雇用、健康、エネルギー等地域の重要課題につき話し合いをおこなう「米州の未来のための会合」に出席した。

#### （3）パナマ・サハラ・アラブ民主共和国外相会談

16日、サイン・マロ副大統領兼外務大臣は、当国を訪問したモハメド・サレム・ウル

ド・サレク・サハラ・アラブ民主共和国外務大臣と会談を行った。本会談において、「モ」外務大臣より2013年11月20日に断交されたパナマとの外交関係再構築にかかる同国政府の関心が表明された。

(4) バレーラ大統領の第44回 SICA 首脳会合出席

17日、バレーラ大統領はベリーズにて行われた第44回 SICA 首脳会合に出席し、各国首脳との間で、経済成長、社会開発、環境保護、人間の尊厳等のテーマにつき話し合いを行った。